

製品名: MMP3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21521**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD

抗原情報

遺伝子名	MMP3
別名	MMP3;STMY1;Stromelysin-1;SL-1;Matrix metalloproteinase-3;MMP-3;Transin-1
遺伝子 ID	4314.0
SwissProt ID	P08254
免疫原	ヒト MMP3 の合成ペプチド

背景

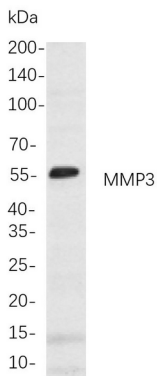
細胞局在: 細胞質。マトリックスメタロペプチダーゼ 3 (MMP3) ヒトマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) ファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、ならびに関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細

胞外マトリックスの分解に関与しています。ほとんどの MMP は不活性なプロタンパク質として分泌され、細胞外プロテアーゼによって分解されると活性化されます。この遺伝子は、フィブロネクチン、ラミニン、III、IV、IX、Xコラーゲン、および軟骨プロテオグリカンを分解する酵素をコードしています。この酵素は、創傷修復、アテローム性動脈硬化の進行、および腫瘍の発生に関与していると考えられています。この遺伝子は、染色体 11q22.3 に局在する MMP 遺伝子クラスターの一部です。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]

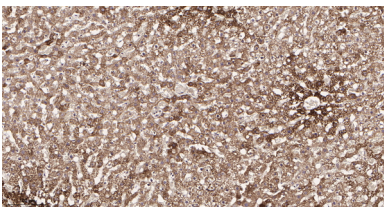
研究分野

-

画像データ



MMP3 ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。1、MMP3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。